

「 「 「 「
「 「 「
「 「
「

♪ジョイコン NEWS ♪

第31号 2018年8月1日

先月の西日本豪雨のあと、各地で35℃以上の猛暑日や、40℃超えなど、「命にかかわる危険な暑さ」がずっと続いてきました。月末には、異例のコースをたどった台風12号が東海、近畿、中国、九州を横断しました。8月になりましたが、この暑さはまだまだ続くようです。熱中症になるリスクを減らし、夏バテにならないように少しでも涼しさにつながる工夫をしてこの夏を乗り切りましょう。

それでは、「♪ジョイコン NEWS ♪」（第31号）をお届け致します。

【もくじ】

- 【1】 次回コンサートのご案内
 - ◆第35回コンサート
- 【2】 今後の予定（先取り情報）
 - ◆第36回コンサート
 - ◆第37回コンサート
- 【3】 良き友、良きライバル？
- 【4】 コンサートのアンケートから

【1】 次回コンサートのご案内

■■第35回コンサート■■

- ◇2018年9月16日（日曜日）
14:00 開演（13:30 受付開始）
- ◇出演：山田磨依（ピアノ）
- ◇プログラム（予定）
 - ◆ディーリアス：3つの前奏曲
 - ◆ブリッジ：おとぎ話組曲
 - ◆ドビュッシー：月の光、喜びの島
 - ◆ダマーズ：ソナチネ、夜明け
 - ◆フォーレ：即興曲 第6番 作品86bis 他
- ◇料金：大人・高校生 2,000円、中学生以下 1,000円
- ◇会場：大倉山記念館ホール

第35回ジョイフルコンサートは『山田磨依ピアノ・リサイタル～珠玉の音楽宝石箱～フランス&イギリス』と題して、お届けします。

メッセージが届いています

この度は大倉山ジョイフルコンサートへ出演をさせていただき光栄です。
フランスとイギリスの知られざる名曲を中心に演奏いたします。

爽やかな季節にぴったりの、透明感溢れる珠玉の作品の数々をお楽しみください。
皆様のお越しを心よりお待ち申し上げます。
（山田磨依）

今回のジョイフルコンサートはピアノソロ演奏です。
前回の熱い津軽三味線の演奏会とは全く趣が変わりますが、とてもお洒落な曲が

満載です。どうぞお楽しみになさってください。

☆フランク・ブリッジ / おとぎ話組曲

● フランク・ブリッジ

フランク・ブリッジは1879年に生まれたイギリスの作曲家です。最初は指揮者であった父親からヴァイオリンの指導を受けました。後にヴィオラに転向しヴィオラ奏者として活躍、その傍ら指揮者としてもサヴォイ劇場、コヴェント・ガーデンでオペラを指揮し、ロンドン交響楽団などでも客演をしました。この経験がブリッジの曲を作るうえで斬新な和声を生み出す影響を与えたと言えます。

ブリッジはヴィオラ奏者、指揮者として大変活躍しましたが、作曲家としてはイギリス国内では認められませんでした。イギリス特有の島国気質で保守的なためか、ブリッジの前衛的な音楽は理解されなかったそうです。

ブリッジの音楽は曲によってブラームス風だったり、ドビュッシー風だったり、ベルグのように前衛的だったりと曲によって全く雰囲気異なり、同じ作品の中でも様々な書法が用いられているということです。それだけあらゆる書法に精通した作曲技術を持っていたそうです。存命中に多くのブリッジの作品が世間に評価されなかったというのはとても残念なことだと思います。

ブリッジは学校で教えるということではなく、生涯1人しか教えませんでした。唯一の弟子が作曲家のベンジャミン・ブリテンです。ブリテンはブリッジの作品を世の中に広めるために大変尽力したと言われています。

ブリッジの左手のためのピアノ曲集「3つの即興 Three Improvisations」は脳溢血のために右半身不随となった舘野泉さんが左手のピアニストとして復活のきっかけとなった曲だそうです。

● おとぎ話組曲

「プリンセス」「人食い鬼」「呪文」「プリンス」の4曲からなる組曲です。とても可愛らしい曲です。発表会等で子供さんが弾いたらとても素敵だし、かわいいのではないのでしょうか？

この曲が作られた1917年は第一次世界大戦中で、ブリッジは現実逃避したくて「おとぎ話組曲」の世界を作ったのかもしれませんが。世の中には私など知らない素敵な曲がたくさんあるのではとつくづく思いました。

きっと澄んだピアノの音に清涼感を感じていただけたと思います。

まだまだ暑い日が続きます。どうぞ熱中症には十分お気を付けてください。
(A.N.)

■ 予約申し込みはこちら

ホームページ：<https://www.ohkurayama-joycon.com/>

予約専用電話：080-8424-5108

【2】今後の予定（先取り情報）～「予約申し込み」はまだ受付けておりません

■■ 第36回コンサート ■■

◇ 2018年11月18日（日曜日）

◇ 出演：ルミエ・サクソフォン・カルテット

※ 2014年東京藝術大学同窓生で結成された若手サクソフォン四重奏団：
住谷美帆 (Sop. Sax)、戸村愛美 (Alt. Sax)、中嶋紗也 (Ten. Sax)、竹田歌穂 (Bar. Sax)
の出演です。

どうぞご期待ください。

◆予約受付開始日：2018年9月17日（月曜日）

■■第37回コンサート■■

◇2019年1月20日（日曜日）

◇出演：田原綾子（ヴィオラ）

【3】良き友、良きライバル？

一人のピアニストと一台のピアノによる演奏会『ピアノリサイタル』。ピアノリサイタルは1839年3月、フランツ・リストによって初めて開かれました。ただこの時はまだ「リサイタル」という言葉は使用されず、最初に登場するのは翌年のロンドンでの演奏会の広告の「リストのピアノフォルテ・リサイタル」の時です。それまでは、ピアノだけで演奏会をすることなど誰も考えもしなかったし、ショパンでさえ一度もソロコンサートはしていません。

当時のコンサートは、ひとつの公演の中にピアノあり、歌曲あり、室内楽ありという混合型のコンサートでした。交響曲やピアノ協奏曲のようなくつかの楽章からなる楽曲は途中で他の曲を挟んだり、一部しか演奏しないのが普通でした。

ショパンは1810年生まれ、リストは1歳年下で、1830年頃から同じ時期にパリで活躍していました。二人ともサロンでもてはやされ、人前で演奏することを好まなかったショパンがリストとは意外なほどよく共演していました。何度も連弾で演奏会にも出演しました。でも二人は全く対照的な音楽家でした。

リストが豪放無頼な技術と大音量で聴衆をうならせたのに対して、ショパンは小さな音で繊細で抒情的に奏でるピアニストでした。演奏回数もショパンが生涯で30回くらいしか公開演奏会（サロンを除く）をしていないのに、リストは8年間で1000回も公演しています。

愛用のピアノも違って、ショパンはプレイエル社製、リストはエラール社製でした。プレイエルのピアノはやわらかく鈴が鳴るような響きでタッチは軽く、そして繊細な表現ができるのでショパンの求める音楽にぴったりでした。エラールのピアノは鍵盤が重く力強い響きを持ち、現代の楽器に近いメカニックを備えていました。リストの演奏は非常に過激なのでコンサートで数曲弾くと弦が切れたりしました。そのため、いつも予備のピアノが用意されていました。

二人にはいくつかのエピソードがあります。天才的なピアノ奏者で初見も得意としていたリストですが、ショパンの「練習曲作品10」を初見で弾きこなせなかったのが、一時期姿を消して練習したそうです。後にショパンはこの練習曲をリストに献呈し、リストは第12曲目を「革命」と名付けました。これが有名な「革命のエチュード」です。ショパンの恋人としてよく知られているジョルジュ・サンドをショパンに紹介したのもリストだと言われています。（のん）

【4】コンサートのアンケートから

★前回のジョイフルコンサート（7月15日公演）

『津軽三味線演奏会～古典から現代まで三味線の歴史をわかりやすく』は如何でしたか？

ジョイコン初の津軽三味線（小山流）とギターによる演奏会で、これまでとは趣が違うためお客様の反応が心配でした。頂いたアンケートの内容を読む限り、今回もとても好評でした。

アンケートの満足度では、「大変良かった」63%、「良かった」22%、「普通」2%残りは「無回答」の14%でした。

自由記入欄（ご感想など）には、

『津軽三味線、生で初めて聴きました。和洋の弦のコラボ、心地よかったです。MCも楽しく三味線についていろいろ分かりました』『ジャズライブのような気がしてしまうほどの自由さも感じ、何だか不思議な気分になりました。楽しかったです』

『三味線という日本の伝統楽器と洋楽器とのコラボが、これほど音楽の世界を拡げてくれるとは思いませんでした。音楽のチカラはすごいですね。三味線の世界に浸かるのではなく、さらに挑戦される姿に心打たれました』『なかなか聴く機会のない三味線、とても楽しかったです。小山会青年部の皆さん、素敵でした。ギターとコラボも最高！』

『津軽三味線の新しい世界を楽しませて頂きました。ギターも素晴らしかった』など、演奏（演奏者）への賛辞が数多く寄せられました。

また、当日は気温が35度にせまる暑い日になったため、急遽受付開始前にも“冷水サービス”を行いました。そのためか「お水&アップルティ、とってもうれしかったです」「アップルティおいしかったです。ごちそうさまでした」などの書き込みも頂きました。

一方、「クーラーがあまり効いていなく演奏する方が大変でした」「空調がきいているともっと良かったです」など苦情も寄せられました。記念館の施設担当者をお願いして「空調をフルパワー稼働」にしておりましたが、会場の温度が下がらない状態でした。アンケート回収数：59（回収率77%）

【編集後記】

このメールマガジン『♪ジョイコン NEWS♪』も、今回で第31号となりました。第1号は2013年8月なので、丁度発行5周年にあたります。偶数月発行を基本として、「次回コンサートのご案内」をメインに、「今後の予定（先取り情報）」やコラムで折々の話題などを配信してきました。

配信数も徐々に増え、200名を超えるまでになっています。コンサートでの「アンケート」調査でも、情報入手先として「メールマガジン」を挙げる方が少しずつ増えてきているのは嬉しい限りです。

これからも、親しみやすく役に立つメールマガジンを目指します。（お）

※このメールマガジンは、

大倉山ジョイフルコンサートのアンケート等で
「コンサート情報」を希望された方に配信しております。

■演奏会予約申し込み

次回予約申し込みはこちら

ホームページ：<https://www.ohkurayama-joycon.com/>

予約専用電話：080-8424-5108

■バックナンバー

メールマガジンのバックナンバー（PDFファイル）はこちら

ホームページ：<https://www.ohkurayama-joycon.com/>

■配信停止／アドレス変更

メールマガジンの登録、配信停止、アドレス変更はこちら

info@ohkurayama-joycon.com

発行：大倉山ジョイフルコンサート実行委員会

Eメール info@ohkurayama-joycon.com

携帯電話 080-8424-5108

URL <https://www.ohkurayama-joycon.com/>
